

えがお通信



2019年10月1日

社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園 園長 酒井和子



秋分の日からは、暑さが和らぎはじめ、台風とともに冷たい空気が朝夕感じるようになり、夏から初冬が訪れたように感じられます。季節の変わり目で、気温差が厳しいので、体調を崩さないように注意していきたいと思います。

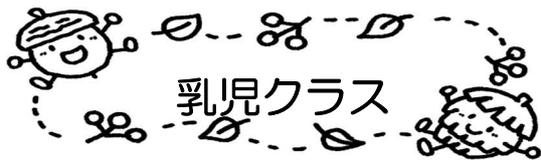
最近、子どもたちは大人が考えつかないような素敵な言葉や姿を見せてくれます。大人が忘れてしまった素直で純粋な心で様々なものを見て、感じているのだということに時々驚き、感心させられます。

子どもたちの感性を一緒に感じ、保育をしていきたいと改めて感じました。



10月の行事	
9日(水)	避難訓練(火災)
12日(土)	運動会
23日(水)	避難訓練(地震)
24日(木)	秋の味覚を味わう
25日(金)	幼児クラスバス遠足
30日(水)	運動遊び
30日(水)	芋ほり





絵本に興味が出てきている子どもたち。自分の好きな絵本を保育士のところにもっていき、膝に座り読んでもらう、保育士の真似をしてお友達に読んであげようとする姿も見られます。

異年齢活動が多くなり、下の子どもに優しく接する姿や、お手伝いをしてあげたりしている姿が多く見られるようになりました。優しい心が自然と育っています。

秋の園外保育

日本には四季があります。春夏秋冬と移り変わって行きます。今はまさしく四季の移り変わりの時ですね。子どもたちが楽しみにしている大型バスに乗り、園外保育を楽しみ、自然の中で季節の移り変わりを子どもたちの目、耳、肌で感じられるようにしたいと思います。



運動会

初めての運動会。なかなか練習が思い通りにいかずに、先生たちはハラハラドキドキ。そんな先生たちの姿とは全く正反対の子どもたち。園庭から楽しそうな声が聞こえてきていました。様子を見に行くと、自慢気に「見て！見て！」と言い、キリッとした姿勢で体操をする姿も見られました。本番ではいつもと違う環境ということで、本来の姿が発揮出来ない事もあると思いますが、どうぞ今までの練習での頑張りを認めて頂きたいと思います。

10月は運動会に園外保育、など楽しい行事がたくさんあります。また、1年でもっとも気持ちのよい時期でもありますので、日々、成長する子どもたちと一緒に、充実した毎日を送りたいと思います。

「秋まつりアンケート」

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。たくさんの感想やご意見も頂き、次年度に活かし、更に子どもたちが喜ぶ行事にしていきたいと思ひます。

10月10日は目の愛護デー ～目を大切に～

2つの10を横に倒すと、まゆと目の形に見えることから10月10日は目の愛護デーとされています。乳幼児期は、子どもの目が最も育つ時期です。この機会に子どもの「目」の健康を改めて見直してみましよう！

《見る力を育てるポイント》

- ①明るさ、暗さのポイント
- ②広い空間で体と目を動かす機会を
- ③いろいろな物を見る力